



3



4



5

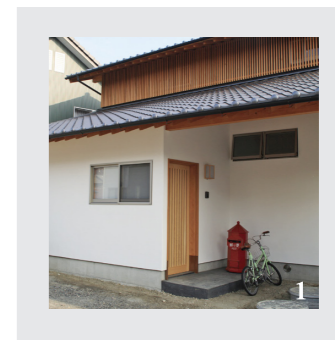
- 1 / 北側道路からの外観。和瓦と面格子が漆喰壁と調和し、陰影の美しい家に仕上がった。
- 2 / 広間全景。障子や格子戸を使い、庭やキッチンなどとのつながりを多様に変化できるプランとした。
- 3 / 建具を開け放つと、キッチンと広間に加え外部の庭をも取り込んだ開放的な空間になる。
- 4 / キッチンから広間と庭を同時に眺める。明るく開放的なキッチンで、料理も楽しそう。
- 5 / 広間の一面に、エアコン・蓄熱暖房機・テレビのスペースを設けた。また、それらの周りにはオリジナルのテレビボードや吊り物入れを設け、生活雑貨を納めている。

の駐車スペースを作り、南側には小さな菜園とウッドデッキスペースを確保しています。「部屋数は少なくてもいいから、それぞれのスペースに少しゆとりを持ちたい」という希望も有り、玄関や広間に少し贅沢な広さを持たせた間取りになっています。そして、何となくでもKさんの家の大きな特徴は、ひとつひとつの「素材」の吟味とそれらの調和ではないでしょうか。

Kさんのお宅は、約50坪の敷地に床面積40坪弱の建物が建っています。余裕のある大きさとは言えませんが、北側に2台

今

年は少し速い梅雨入りとなり、毎日はずきりしない天気が続いていますが、今回ご紹介する『実りの家』のKさんのお宅に伺った日は晴天に恵まれ、とても気持ちの良い天気の中で取材をさせていただきました。Kさんのお宅に伺い玄関を入ると、とても心地よい風が南の大きな窓から流れてきました。4月上旬にお引越しをしたばかりですが、すでに中庭にはいろいろな木々が植えられ、新緑の葉が風に揺られているのを見ると、より一層涼しさを感じました。



完成現場報告 /  
島田市『実りの家』

素材と人を結び、  
暮らしと調和する。



文 / コロボ 山崎健治  
撮影 / コロボ 古屋絵理



10



9



8



7



6



11

- 6 / 鬼胡桃の大黒柱を中心に、玄関・和室・広間が繋がっている。
- 7 / キッチンの天井には、檜の無垢板を使用した。イメージは大きなまな板！
- 8 / 他の部屋とは違って、和のテイストでまとめられた玄関。格天井の製作は大変でした！
- 9 / タモのカウンターの上に洗面台を乗せて製作した、オリジナルの化粧台。モザイクタイルが印象的。
- 10 / 定番となったコロボの木のお風呂。浴槽はKさんこだわりのホーロー製。
- 11 / 中庭から建物を眺める。果物などの色々な木々が植わっている。

### 仕様内容

家族構成	家族 2 人
敷地面積	165.30 m <sup>2</sup>
建築面積	84.47 m <sup>2</sup>
延べ床面積	117.60 m <sup>2</sup>
構法	落とし込み板壁構法 2 階建て

屋根	陶器瓦
外壁	ガルバニウム鋼板 角波張り 一部漆喰コテ押さえ仕上げ
外部建具	アルミサッシ+桧木製建具 (ベアブラ)
天井	杉板本実張り
壁	落とし込み板現し、漆喰コテ押さえ
床板	栗本実板715mm+桧本実板715mm
内部建具	オリジナル木製建具
浴室	壁・天井 / 青森ヒバFJ 床 / 樹脂タイル300角
キッチン	杉板+タケノコ / 天板：檜無垢板
浴室	浴槽 / ホーロー 1500
設計者	山崎健治
施工	有限会社こころ木造建築研究所



2階平面図



1階平面図・敷地図

### 「調和する」 ・・・とは。

様々な素材選びと、それらの調和。「調和する」とは、単に部材と部材の結びつきだけではなく、家造りを通して、住い手や造り手のそれぞれの思い、また家族の思いを結びつけていくことにもつながっていくのだと感じました。まだまだ新しい部材はそれぞれ主張しているかも知れませんが、時間の経過と共に徐々になじみ、まさに調和のとれた家になっていくと思います。

### 「和」を。 玄関には

玄関の天井には杉の柾目板の格天井を作り、式台や玄関収納の天板にはお母さんから頂いたケヤキの一枚板を使用しました。当初、ケヤキの木目や色が強いのではないかと思うこともありましたが、これまた出来上がってみると全く問題はなく、広間などに比べて、「和」の空間が出来上がりました。

### 「まな板」に。 キッチンの 天板を

檜(ナラ)の無垢板を、大胆にもキッチンの天板で使いました。これはKさんの強い希望で、この天板は大きな「まな板」として使用したいとのこと。ステンレスシンクとの納まりに苦労しましたが、出来上がってみるとまさに大きなまな板。小まめにワックスを塗り、丁寧に使っていきたいと喜んでいただきました。

### 適材適所に 材を選ぶ。

これまでコロボで作る板倉構法は、柱や梁・落とし込み板などの構造体をすべて杉材で造ってきました。しかし今回の家では、Kさんの強い希望もあり、柱には良材の檜材を使用しています。杉板の壁と檜材の柱の組み合わせは今回初めての試みだったので、それぞれの材が適材適所で使われ、とても調和の取れた構造体になったと思います。

# 暮らし方に 合った、 床板を選ぶ。

家を建てるなら無垢の床を使いたいと思ってる方は大勢いると思いますが、どんな樹種の床板にしたいかと改めて聞かれると、木の種類や特徴など解らない方も多いのではないのでしょうか。

10年程前は、床板と言えばいわゆる合板のフローリングを使う事が多かったように思いますが、現在では木の家でなくても無垢の床板を使う方が多くなってきましてね。無垢材の関心が高くなって来た事はうれしい事ですが、無垢の床なら樹種は何でもいいとはいきません！床板は、壁材や天井材と違い、直接人の体が触れる部分ですし、毎日の生活により過酷に使用される場所でもあります。また、家具やピアノなどの重量物を長期に渡り支えなくてはいけないし、1階の床板は床下に近い事から、湿気などによるカビやシロアリなども気になりますよね！これらを考えただけでも、肌触りや耐

久性など、多方面からの検討が必要になってくる事がわかります。

そして、床板を選択すると言う事は、日々の暮らし方とも密接に関係してくるという事を忘れてはいけません。床でゴロゴロと過ごしたい方には、やわらかく肌触りのやさしい床板をお勧めします。また、ソファーや椅子を中心とした生活の方には、椅子の足などでもキズが付きにくい、少し硬質な床板が良いと思います。そして、子育てに合った床板や、趣味の用途に合った床板など、様々な視点で床板選びをしていただきたいと思えます。

一度家を建てれば、多くの方がその家で一生を過ごしていくと考えると、一時の心地よさや見た目の良さだけでなく、将来の暮らし方をも視野に入れて床板選びを行うことも大切だと思えます。たくさんさんの樹種の床板に触れる機会は少ないと思いますが、お友達の家や見学会などに出かけた時は、是非、床板を意識してみてください。きつと自分達に合った床板が見つかると思いますよ。今回のページでは、『実りの家』の広間で使用した栗の床板の特徴を始め、コロボで建築していただいたお宅の、自慢の床板をご紹介します。



## 栗 [クリ]

『実りの家』の広間・キッチン・玄関に、栗の床板を使用しました。栗特有のはっきりとした木目があり、柔らかい肌触りがあり、はつきりとしていて美しい木目に独特のツヤがある。心材は淡い褐色、辺材は淡白色。床板／広葉樹でありながら手触りが柔らかく硬質感がなく、時間が経つと段々色が濃くなってきて一段と輝きが出てくる。栗の木にはタンニンが多く含まれるので、水に強く非常に腐れにくいという特性がある一方、水じみ・アクが出やすいので、水周りに使用する際には注意が必要。

『実りの家』の広間・キッチン・玄関に、栗の床板を使用しました。栗特有のはっきりとした木目があり、柔らかい肌触りがあり、はつきりとしていて美しい木目に独特のツヤがある。心材は淡い褐色、辺材は淡白色。床板／広葉樹でありながら手触りが柔らかく硬質感がなく、時間が経つと段々色が濃くなってきて一段と輝きが出てくる。栗の木にはタンニンが多く含まれるので、水に強く非常に腐れにくいという特性がある一方、水じみ・アクが出やすいので、水周りに使用する際には注意が必要。

程耐久性の高い木材です。また日本人にとっては、食材や用材として重宝され、太古の昔から関りあつて来た木材です。そんな木材で作られた床板と言う事で、特別の思いも感じさせる家になったように思います。数年たつて、この栗の床板がどのように味わいを増すか…今からとても楽しみです。

分類／広葉樹 プナ科  
産地／福島県、岩手県  
気乾比重／0.55

特徴／重くて粘りが強く、はつきりとしていて美しい木目に独特のツヤがある。心材は淡い褐色、辺材は淡白色。床板／広葉樹でありながら手触りが柔らかく硬質感がなく、時間が経つと段々色が濃くなってきて一段と輝きが出てくる。栗の木にはタンニンが多く含まれるので、水に強く非常に腐れにくいという特性がある一方、水じみ・アクが出やすいので、水周りに使用する際には注意が必要。

- 1／ フローリング用に集めた、直系22cm×30cmほどの丸太、一坪（仕上がり）あたり丸太2〜3本を使う計算になる。
- 2／ 床板に使う素材は、樹齢約80〜100年生を使用している。
- 3／ 床板用に栗丸太を製材している様子。
- 4／ 製材後の天日乾燥の様子。3〜4カ月後に人工乾燥で水分を飛ばしてから加工する。

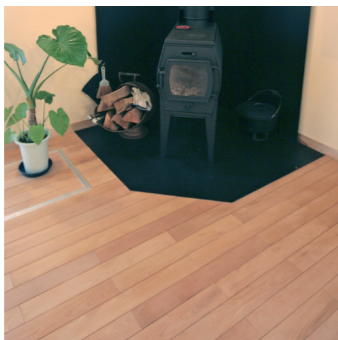
## その他の樹種

コロボの家造りで使用した、自慢の床板をご紹介します。

### 樺 [ブナ]

使用例 『春の家』

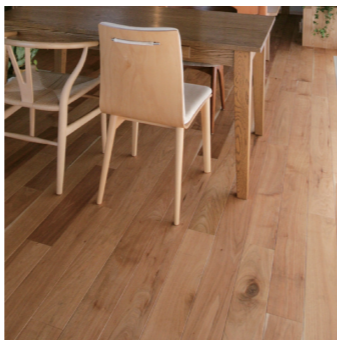
分類／広葉樹 プナ科  
産地／群馬県、栃木県、福島県  
気乾比重／0.63  
特徴／木肌は緻密で、強度がある。加工性は比較的良く、子供用の玩具に利用されることも多い。心材・辺材とも淡い黄白色〜淡褐色だが、樹によって色のばらつきがある。床板／木目ははつきりとして、明るく優しい材色と相まって柔らかい印象の仕上がりになる。



### 鬼胡桃 [オニクルミ]

使用例 『ひとつの家』

分類／広葉樹 クルミ科  
産地／福島県、岩手県  
気乾比重／0.53  
特徴／独特の光沢を持ち、軽軟で加工性がよく、割れや狂いが少ない。心材はくすんだ淡い褐色〜黄褐色、辺材は灰白色。床板／広葉樹の中では若干柔らかく、優しく温かく感じる。一枚一枚の色の変化が大きく、全体の仕上がりは深みのあるものになる。床板としては珍しいが、コロボ新事務所で使用している。



### 水楢 [ミズナラ]

使用例 『囲い庭のある家』

分類／広葉樹 プナ科  
産地／群馬県、栃木県、福島県  
気乾比重／0.67  
特徴／堅くて重く強度があり、広葉樹の王者と呼ばれている。木目のはつきりと現れ、心材はくすんだ淡い褐色、辺材は淡い紅色を帯びた白色。床板／傷が付きにくく、堅めで冷たい感触。部屋を落ち着きのある雰囲気にする。水にも強く、土足で使用することも可能。



### 杉 [スギ]

使用例 『青の家』

分類／針葉樹  
産地／北海道を除く地域  
気乾比重／0.58  
特徴／軟らかく軽いので加工がしやすい。心材は淡い赤色〜濃い赤褐色、辺材は淡い黄色。特有の香気を放つ。床板／さらりとして心地良い感触だが柔らかい為キズが付きやすく、木目が浮かびやすい。源平板と呼ばれる、赤身と白太が縞模様になった床板も使われるが、経年変化と共に色の差は分かり難くなる。



『実りの家』